

平成19年度学術ポータル担当者研修
平成19年8月22日(国立情報学研究所)

機関リポジトリの導入戦略

国内の大学における現状と運用上の諸問題

千葉大学情報部学術情報課
森 一郎

キーワード

- 学内認知
- 予算
- 体制
- システム
- コンテンツ
- 広報
 - ・ グッズ

「学内認知」の前に

- 単独あるいは複数の大学コミュニティの知的生産物を捕捉し、保存するデジタル・コレクション (Raym Crow)
- 大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス (Clifford A. Lynch)

よく言われるリポジトリの意義

- 学術雑誌の価格高騰への対抗
- 研究成果の効果的な発信
- 大学の社会に対する説明責任の履行
- 研究者・大学の知名度の向上
- 研究者コミュニティ構築への寄与

「学内認知」の要点

- できるだけ短く、わかりやすい言葉で説明する
- “図書館の仕事”にしない
- 使えるものは何でも使う

「学術情報基盤の今後の在り方について(報告)」(2006)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/06041015/020.pdf

「予算」の確保

- いわゆるCSI経費はなくなる？
- 科学研究費補助金？
 - 間接経費
 - 直接経費

何に「予算」が必要か？

- ハードウェア
- ソフトウェア
- 人員
- コンテンツ

「システム」の導入状況

システム	大学数	主な大学
DSpace	34	北大, 東大, 名大, 京大, 九大ほか
NALIS-R	8	東学大, 東外大, 鹿大, 琉大ほか
eRepository	3	阪大, 広大, 島大
XooNips	3	旭医大, 埼大, 慶大

「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業(中間まとめ)」
(2007)から抜粋改編(全体数は58)

<http://www.nii.ac.jp/irp/info/2006/CSIH18report.pdf>

「システム」の特徴と設定

情報はいろんなところにある

- ・「学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト報告書」(2005)

<http://www.nii.ac.jp/metadata/irp/NII-IRPreport.pdf>

- ・お茶の水女子大学図書・情報チーム DSpaceインストール日記

http://d.hatena.ne.jp/ocha_repo/

「システム」に加えて

- 検索エンジン, データベースとの連携
 - Google
<http://www.google.co.jp/addurl/>
 - Scirus
Elsevier にメール等で依頼
- SEO対策
<http://www.seotools.jp/> (SEOアクセス解析ツール)

「体制」の構築

- 館内の体制
 - ワーキンググループ
- 学部等との連絡調整
 - 窓口
- 規程等の作成

「コンテンツ」収集

- 「体制」と不離一体の問題

- 収集の対象

- 収集の方法

「より多くのコンテンツを機関リポジトリに集めるために
教員を理解する」ほか

<http://www.nii.ac.jp/metadata/irp/ref.html>

「広報」

- 多様なメディアの活用
- 術語使用の注意
- 愛称, ロゴの作成
- 学外に対しての広報

「グッズ」

- 目的
 - 広報
 - 重要性の主張
 - 構築の記念品
- 効果

おわりに

- 情報の収集
 - 雑誌記事
 - ネット情報
- 人的ネットワークの活用

DRF

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php>